

# 五省会ニュース

発行所  
 特定医療法人五省会西能病院  
 〒930 富山市五福1130  
 TEL (0764) 41-2481(代)  
 発行人 西能 正一郎

## 現役管理者を講師に招いて

### 個が活きるチームづくり

#### 看護部管理者育成研修会

七月から一年間の予定で開いている看護部管理者育成研修会は、十月から第二段階に入った。第八回(十月二十三日)は、大阪・高槻病院の山田静子氏を招き、個が活きるチームづくりのために「をテーマに、熱心に研修した。

看護部の中間管理者、看護婦を指導する管理職であり、看護学校の教務課長も勤めている。前半は、自分自身がカリキュラムは第四段階まで、計二十四回の講義を予定している。第八回の講師、山田静子氏は、約三百人の

後半は、受講者のグループワークに移り、個(自分自身)を見つめる方法を学習。患者さんも、それぞれが「個」であり、個を認識してこそ活きたチームづくりが可能であり、いき届いた看護ができることを力説した。

この研修会は、一年を通して、メディアーク経営研究所所長、須磨忠昭氏が担当。毎回各分野のベテランを講師に招いている。

#### 山田氏(中央)の指導でグループワークに挑戦



カリキュラムの骨組は次のとおり。第一 第二段階管理職としての知識と技術(基本知識) 第三段階 組織の中の管理職(役割、業務範囲、事務的業務) 第四段階 医療の変化と看護(これからの医療、看護と介護)

## 故諸富武文先生を偲ぶ

西能 正一郎

平成五年十一月四日午前、執務して間もなく京都府立医大平沢教授から直々の電話は、恩師、諸富武文先生の訃報であった。その後、良子夫人からの電話や、仲間同志の連絡やら宙に浮いたような一日であった。

十一月六日に密葬にお参りしたが、享年八十歳、学会に出席するために玄関まで出て靴を履いてから倒れられそのまま、名実共に大往生であったと云う。

五省会ニュースを読んで頂く方も今や五千人に近く、個人的な記事を書ける規模ではなくなっているが、今年私が大学を卒業してから四十年、在学中から一貫して師事して来た恩師のご他界であるので、哀悼の文を草しご冥福を祈る気持ちしきりである。

## 多大な影響を受けた恩師

恩師、諸富武文先生は、日本の整形外科の生みの親である神中正一先生の愛弟子である。二回に亘る戦時招集を潜り抜けて、九州帝国大学附属病院整形外科医長として帰任せられやがて八幡製鉄所病院を経て、国立小倉病院整形外科医長に任せられた。此処に於ける研究の成果が、筋・筋膜性腰痛症を学会に発表することとなり、学会で高く評価される論文であったために、神中教授の推薦を受け、弘

痛症の総纏めのために心の休む暇がなかったし、未だ数人にも満たない教室員は叱咤激励されて裏付けの研究に寝る暇もなかった。私は自分の経済的背景から、長期に亘って研究室に居ることを許されなかったが、始めて研究室というものを知って、その血の出るような雰囲気や体験させていただいたことは、その後の私の研究への取り組み方に大きな影響を頂いているものと感謝している。

昭和五十年の夏、まだ教授として御在任中に心筋梗塞で倒れられ、約四ヶ月ほど私の病院でリハビリテーションと称してお過ごしただいたことがありますが、此の度のご不幸はその再発の大往生であった。つい先日までお元気であったのに残念でならない。 合掌

## 晴れの表彰

### 富山市政功労者で

#### 五省会、大上評議員(県議)



大上氏

特定医療法人 財団 五省会、評議員、大上紀美雄氏が、十一月一日、富山市から市政功労者として表彰された。と語っている。

富山市の農協会館八階ホールで開かれた。事務部長事務課施設係主任、石倉喜一氏が一般交通安全功労者(個人)として、また西能病院が同(団体)として、それぞれ富山警察署長・富山交通安全協会長賞を受賞した。

### 一般交通安全功労者で 西能病院と石倉主任



感謝状をみせる 渡辺事務部長(左)石倉主任(右)

平成五年度優良運動者表彰式が十月三十日

### 石倉主任が 永年勤続ボーイラー技士として

第四十二回県ボーイラー大会は十一月八日、富山電気ビルで開かれ、石倉喜一主任が永年勤続ボーイラー技士として表彰された。昭和四十年に二級を、同四十五年に一級の免許を取得。

### 西能病院が 安全衛生優良事業所として



会場で表彰状をみせる 渡辺事務部長

十一月十二日、ホールで開かれた富山地区産業安全衛生大会で、西能病院が平成五年度安全衛生優良事業所(二十二事業所)として表彰された。

## あすなろ

時の移り変わりとともに使われなくなった言葉は多い。なかには消したくない日本語もいくつかある。ピート北野大氏がCMでいう「もったいない」もその一つなら「ありがたう」も近ごろの若者の間から消えかけている言葉だ。横綱の曙が初めて覚えた日本語が「ありがたう」でございます。だいたいは「ありがたう」という。はもとも「めったにないことだ」の意。室町期以前、謝礼には「かたじけない」を使い「ありがたう」は、またとなく尊い法悦の感激の言葉だった。柳田国男氏は「本来、神をたたえる言葉だったのが神からの恵みに対し口にするようになった」といっている。元禄以後も、法華経から出た宗教的謝意の意味が強く、当時の歌謡集に「おありがたの利生や仏参りの」と歌語の「お」までつけている。四国八十八か所の参詣を終えた最後の寺で、お大師さんへ、あるいは、お遍路さん同士が「ありがたうございませす」といって合っている姿に心打たれた」といっている。評論家の栗田勇氏。「言葉の中に自分の身も心も入りこんだ、本当に美しい「ありがたう」だった」と説明している。声楽の生命は声帯でなく、生きていく心と肉体だ。心と体の奥底から「ありがたう」のことがい合えたら、この世はどんなにか美しく輝くことだろう。

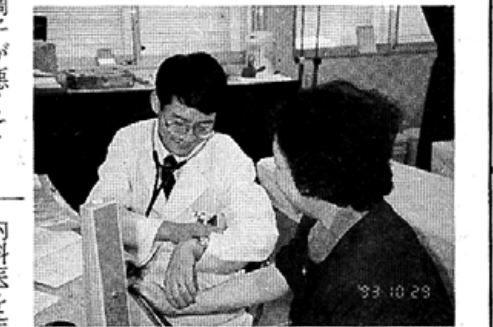




クラシックと鉄道の大ファン

高田良久医師
男の子と鉄道の話で意気投合。ヨーロッパでのスライッドを病室で映写していついそに楽しんでいただこうというエピソードもある。

「先生、この前の日曜日に調子が悪くて...」
「性格にあっていると思ってるから、特にわずかな量のホルモンが健康を保つ人間の身体に調節機構に興味がありその研究成果を生かす医療で患者さんの力になりた」と語る。



高田良久医師

大阪で自分を掴む自活の道
八重津浜で、じっと波の音を...
~松下さんが、ひよっこり富山へ~

JR富山駅から病院に直行した車椅子の松下さんは、西能理事長と握手を交わして近況を報告、西能院長や入院中に世話になった職員らと語り合った。



松下さんは、西能理事長と久しぶりに再会



じっと、波の音に耳を傾ける松下さん

「皆さんに迷惑ばかりかけて申し訳ないで、さうして、さうして、さうして、さうして...」
「八重津浜海水浴場で背面飛び込みをして頭頂部を打ったのは昭和五十二年七月。西能病院で二年八ヶ月の入院生活を送ったが、両下肢完全麻痺、両手不自由な重度身障者になりました。」

ある日の人間ドック

人間ドックには、日帰り、一泊二日、二泊三日、三泊四日の四コースがあります。この日は、日帰りドック希望の原徳久さんは北陸線に転勤し、十五年ぶりに郷里の富山勤務になったとのこと。

「検査も、通路で待つことなくスムーズに行われて、とてもリラックスした感じが...」
「検査も、通路で待つことなくスムーズに行われて、とてもリラックスした感じが...」

「信頼と奉仕」の精神を痛感
浦都市の病院から23人が見学
浦都市の整形外科、藤井病院(藤井登至院長、西能病院に勤務している)の職員二十三人が、十月十一日、西能病院を見学した。

利益は社会に環元
文化交流を目的としたイセ文化基金

西能 素晴らしい作品をいっぱいお待ちください。
西能 素晴らしい作品をいっぱいお待ちください。西能 素晴らしい作品をいっぱいお待ちください。

「私よりすごいコレクターが増えています」と伊勢彦信氏
西能 素晴らしい作品をいっぱいお待ちください。西能 素晴らしい作品をいっぱいお待ちください。

世界の王
伊勢彦信氏
伊勢グループ会長伊勢彦信氏

「日本人らしからぬ日本人」とドナルド・キン氏が評した伊勢氏。世界百人のコレクターに名を連ねる美術好きで、イセ文化基金を設立し、美術界の若手育成に援助を惜しまないスケールの大きな人物である。

「西能さん、お陰で非常に好調だったもので、十年ほど前少し世の中にお返しをしたいと考えて文化基金をつくったのです。自分の楽しみでもあるけれど、利益の一〇%を文化の振興のために寄付しよう」と。



# より活性化を

## ⑤



「当院における人工膝関節置換術後の追跡調査から」リハビリテーション五人、発表者、飛田勉



当院では、膝関節の機能の再建として人工膝関節置換術が行われている。そこで、手術一年以上を経過した変形性膝関節症に対し、追跡調査をした。

追跡可能な32症、43関節を対象とした。手術時の平均年齢は六八・七歳、手術後の平均経過期間は四年五カ月男性7、女性25症例。

方法は、機能評価に基づき、疼痛、歩行能力を、また調査時の日常生活の状況、及び食事時の椅子、ベッド、トイレ、家屋改造などの状況を調べた。さらに満足度を検討した。

疼痛(43関節) 全体的に時間の経過と共に

に改善傾向がある。疼痛なし(手術前1、退院時16、調査時23)軽度(5、24、16)中度(20、3、3)強い疼痛(17、0)

歩行能力(32症例) 正常(手術前0、退院時0、調査時2)軽度の障害(5、9、14)中度の障害(19、21)

### 調査時に疼痛が激減 日常生活が洋式化の傾向に

1) 調査時には疼痛が増え強い疼痛が激減。  
2) 歩行能力(32症例) 正常(手術前0、退院時0、調査時2)軽度の障害(5、9、14)中度の障害(19、21)

12) 高度の障害(8、2、4)。全体的に時間の経過と共に改善の症例が多い。

# 老人福祉の手引

## ⑮



### 介護職員を充実

#### 慢性期の多い二種類が

#### 〔老人病院〕

老人病院は急性期(病状が不安定で緊急性があり積極的な治療を要する)を過ぎ、慢性期(比較的病状が安定し介護に治療の重点がうつる)となった高齢者の多い病院として県が認めた病院です。老人病院には特例許可老人病院と特例許可外老人病院があります。

(特例許可外老人病院) 毎年四月一日から翌年三月三十一日まで70歳以上の老人の収容比率が六割以上で次の病院以外をいいます。特例許可老人病院の許可病棟、基準看護承認病院(病棟)、結核・精神病棟として知事に届け出た病院。市町村立の伝染病院、「特別の事由」で知事が認める病院です。

入院患者に対する医師や看護婦の数は、一般の病院に比べ基準が緩やかですが、かわりに介護職員の数を充実させることになっていいます。県内には31カ所あります。

介護職員を充実させるには、慢性期の多い二種類が、老人病院は急性期(病状が不安定で緊急性があり積極的な治療を要する)を過ぎ、慢性期(比較的病状が安定し介護に治療の重点がうつる)となった高齢者の多い病院として県が認めた病院です。

# 病院だより

## 十月

十日 富山市呉羽丘陵歩こう会に救護班。十五日 西能理事長が福光中央会館(大砺波園保健協議会主催)で寝たきり防止シンポジウムのシンポジスト。

二十日 西能理事長が県農業総合研究所で「地域福祉の現状と展望」を講演。主催はJA富山中央会。

二十一日 職員四十人が病院玄関前の愛の献血車(県赤十字血



二十四日 職員第十六回運動会を富山市

## 十一月

二十九日 西能理事長が富山観光ホテル(呉羽懇話会主催)で「医者が患者になった話」を講演。

三十日 西能院長が富山市西部中学校(同校育成会主催)で「少年期のスポーツ障害について」講演。

三十一日 本看護連盟富山県支部

## 十二月

九日 西能理事長が県民会館304号室で「高齢者の病状と予防」を講演。主催は県いきいき長寿財団。

十七日 恒例の忘年会を電気ビルで。

二十七日 富山テレビが心療内科の臨床心

# 診療体制のご案内

### 通院バスのご案内



休日診療 (日曜日・祝日)	
午前8時30分	午後5時
整形外科	内科
リハビリテーション科	

平日診療 (月曜日～土曜日)	
午前8:30～12:00	午後4:00～7:00
整形外科	内科
リハビリテーション科	

スポーツ外来	
火・土曜日	午後4:00～7:00
糖尿病外来	金曜日 午前9:00～12:00
循環器外来	月曜日 午前9:00～12:00

人間ドック	
日帰りコース・1泊2日コース	(水・金曜日)
2泊3日コース・3泊4日コース	(申込先)
泌尿器科外来	土曜日 午後1:30～5:00
神経内科外来	木曜日 午後2:00～5:00

在宅看護・診療	
木・金曜日	午後1:30～4:00
栄養指導	
月曜日～土曜日	午前10:00～11:00